

知床の窓から見えるもの

2015年7月14日（火曜日）

「インターンシップ」

今年も羅臼高校からインターンシップの学生さんがやってきました！

一昨年からは看護師体験・医療事務体験をベースに始まり、去年からはリハビリ体験も追加され今年で3年目の開催となりました。

普段診療所で受診される場合、直接関わるのは医療事務や看護職が多く、他の医療職がどんなものがあるのかわからない方も多くいらっしゃると思います。かくいう私も、中学生の頃から医療職に就きたいと考えていましたが、“臨床工学技士”の仕事を知ったのは働いてからでした。

そこで、今年は検査技師や放射線技師、臨床工学技士とみなさんが日常的にあまり聞きなれない職種にもスポットをあて、その仕事内容や高校卒業後の進路を紹介するパンフレットを作成しました。高校生のみなさんもパンフレットを持ちながら見学に臨んでおり、イメージを掴みやすかったのではないかと思います。

朝、緊張した面持ちで診療所にやってきた3人の高校生達でしたが、それぞれ看護師やリハビリ技師の制服に袖を通すと初々しくも頼もしい診療所スタッフに見えてくるので不思議です。師長からのオリエンテーションが終わった後、それぞれ希望の配属先にいき体験をしてもらいました。昼食は病院食を試食し、午後からは3人そろってリハビリの利用者さんと一緒にラジオ体操で体を動かしあつというまの1日だったと思います。

今回の経験が、これからの職業選択の一旦を担いひいては羅臼町の医療を支える人材になっていけるとよいなと思います。

